



このコーナーでは、奥州市民活動支援センターの業務を受託しているNPO法人夢追座が市内で活動する団体を紹介していきます。

思いをカタチに 地域づくりの輪

NPO法人
日本車椅子レクダンス協会奥州支部



笑顔いっぱいの体験教室

楽 しさと喜びを共有し、車椅子で生活をしている人の輝きづくりをサポートしたい。少しでも機能回復につながる活動になってもらえれば——。そう語るのは、NPO法人日本車椅子レクダンス協会の松森たき子奥州支部長です。同協会は、高齢者や障がいのある人たちが、みんなと一緒に楽しめる社会環境を実現するために活動し、車椅子を活用したフォークダンス、レクリエーションダンスを楽しんでいます。

発足のきっかけは、朗読ボランティア基礎講座を受講した人たちが結成した音声訳ボランティア「はなこ」との会でした。同会の活動を通して、視覚障がいのある人や車椅子で生活している人から、体を

活動を行う上で、ダンスの選曲は重要な要素。活動に参加するみんなが知っていて、親しみが持てる曲を選びを心掛けています。「サザエさん」や「水戸黄門」のテーマソングなどが好評です。参加者は、それらの曲に合わせてダンスを始めると、笑顔があふれます。また、会員が車椅子の人の膝や手に軽く触れたり両手

をつないだりしながら、曲に合わせて前進や後進、回転の補助を行っている。参加者はだんだんと気持ちもダンスの動きも積極的に。会員は、参加者が手も使い全身で楽しんでいる様子から、この活動が心と体のふれあいができるダンスであることを実感し、感動を覚えます。

優しい社会を願って

こうした活動を通して松森支部長は「会員、参加者、お互いにメリットがある。参加者にとっては、身体の状態に合わせて、無理なく五感を刺激されることが健康づくりにもつながる活動になっていると思う。また、会員にとっては、相手の立場を思いやり、



▲江刺ボランティアフェスティバルの体験会の様子

▶水沢ボランティアフェスティバルの体験会には学生たちも参加



活動は、主に姉妹地区にある障がい福祉サービス事業所「はつぴいウイング」と、金ケ崎町の特別養護老人ホーム「友愛の家」に月に1回訪問して行っています。また、ボランティア学習として学校からの依頼で活動を行うこともあります。



手をつないで前進や後進をする様子

<今月の表紙>

仙北街道駕籠道中大会

仙北街道駕籠道中大会（愛宕地域振興会主催）が10月21日、胆沢愛宕小学校を主会場に行われました。早駕籠競技には8チームが参加し、ちょんまげにわらじ、法被姿の担ぎ手がかごに子どもを乗せ、グラウンドをリレー。各チームの工夫を凝らした応援を受けながら、優勝を目指して走りました。



Public Relations Magazine Oshu City

2018.11 Vol.153

広報おうしゅう
平成30年11月号

CONTENTS

- | | | | |
|----|-------------------------|----|-----------------|
| 2 | キラリ輝く奥州人 | 12 | いいとこ、知っとこ おうしゅう |
| 3 | 思いをカタチに 地域づくりの輪 | 13 | まなびの里 |
| 4 | 秋の「叙勲」「危険業務従事者叙勲」受章者の紹介 | 14 | もっと安心 ずっとおうしゅう |
| 5 | 2019スポニチいわて奥州きらめきマラソン | | はい、こちら総合相談室 |
| 6 | 街diary | 15 | おうしゅう こそんぼ |
| 8 | ILC希望のひかり | | 姉妹都市 掛川だより |
| 9 | せいかつ百科 | 16 | インフォメーション |
| | 市長コラム「おうしゅう羅針盤」 | 20 | 奥州遺産 |
| 10 | 奥州の秋まつり グラフ | | |



61

高橋 郁美 さん (28歳)

=胆沢小山=

喜んでもらえるように 新鮮味を追い求めたい

自宅に飾られているのは民族的なデザインのポーチやバッグ、そして装飾品。高橋郁美さんは、エスニックアクセサリーや雑貨を作るハンドメイド作家だ。

6年前前、長男の出産時に切迫早産で入院していた高橋さんは、何かできることはなにかとベッドの上で裁縫を始める。「最初は並縫いもうまくできなかったけど、独学で少しずつ技術を身に付けてきた」と当時を振り返る。

長女が生まれ、子育てと仕事を両立したいと思っていた

11月17日・18日、メイプルで開催される「クラフターズ・マーケット」への出店に向け、準備を進める

高橋さん。この出産を契機に本格的にハンドメイドを始め。自前の手作りのアクセサリやエスニック雑貨を並べる「candora」という名前で活動し、県内外のイベントへ数多く出店している。

「エスニックアクセサリなどを扱う店は県内では少なく、ファンの皆さんが手に取って見れる機会を増やしていきたい」と目を輝かせる高橋さん。「いつも来てくれるお客さんに毎回喜んでもらえるものを作りたい。いつの日か店を持てたら」と夢は広がる。



たかはし・いくみ◎平成2年、胆沢生まれ。演劇やダンスが好きで、小学生の頃から奥州胆沢劇場にキャストとして参加。造園技能士などの資格を持つ。両親、夫、子ども2人の6人家族